

# 石狩小学校活用プラン

## 石狩小学校の位置

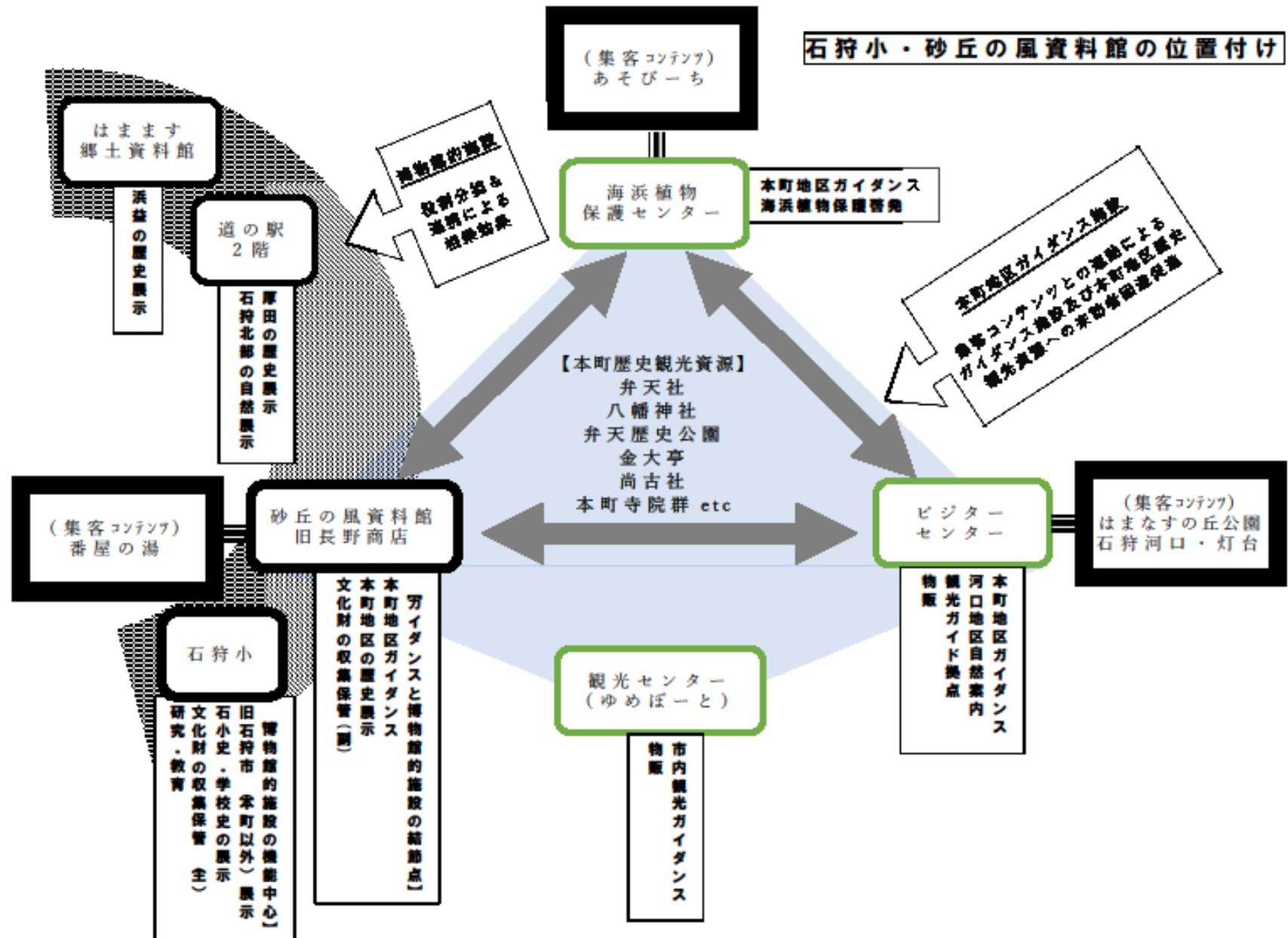


■**地形** 日本海と石狩川に挟まれた砂州の上に形成された細長い市街地の南端に位置している。

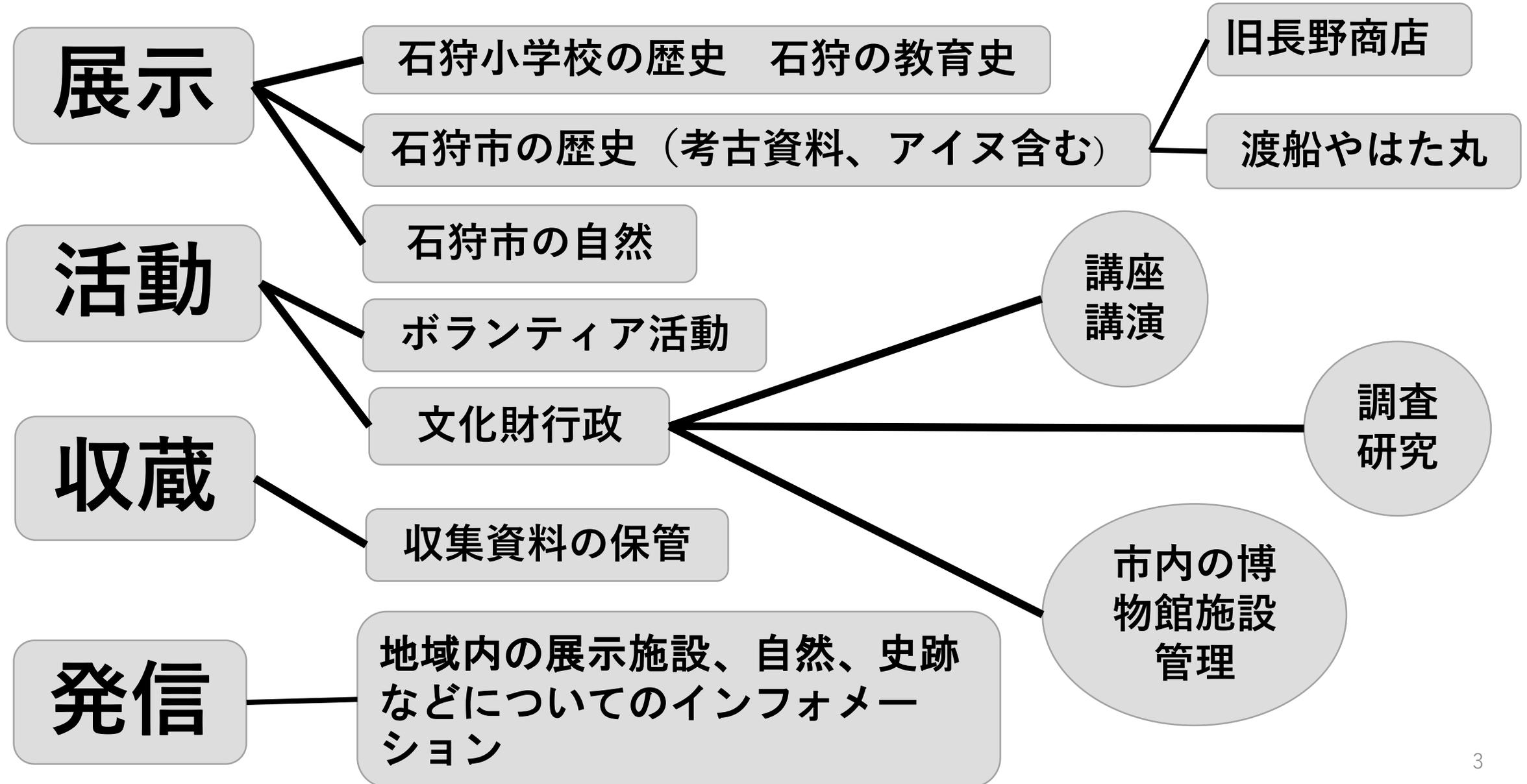
■**歴史** 江戸時代には運上屋が置かれ鮭や材木などの輸送拠点となっていた。1696年創建の弁天社には鮭の豊漁と航海安全を祈願する奉納物が多く残されている。明治前半に鮭漁は最盛期を迎えて本町市街は大いに賑わった。

■**石狩小学校** 1873（明治6）年に公立石狩教育所としてスタートし1956（昭和31）年に現在の円形校舎が建設された。現存している円形校舎としては道内で最も古く、唯一現役の校舎として使用されている。

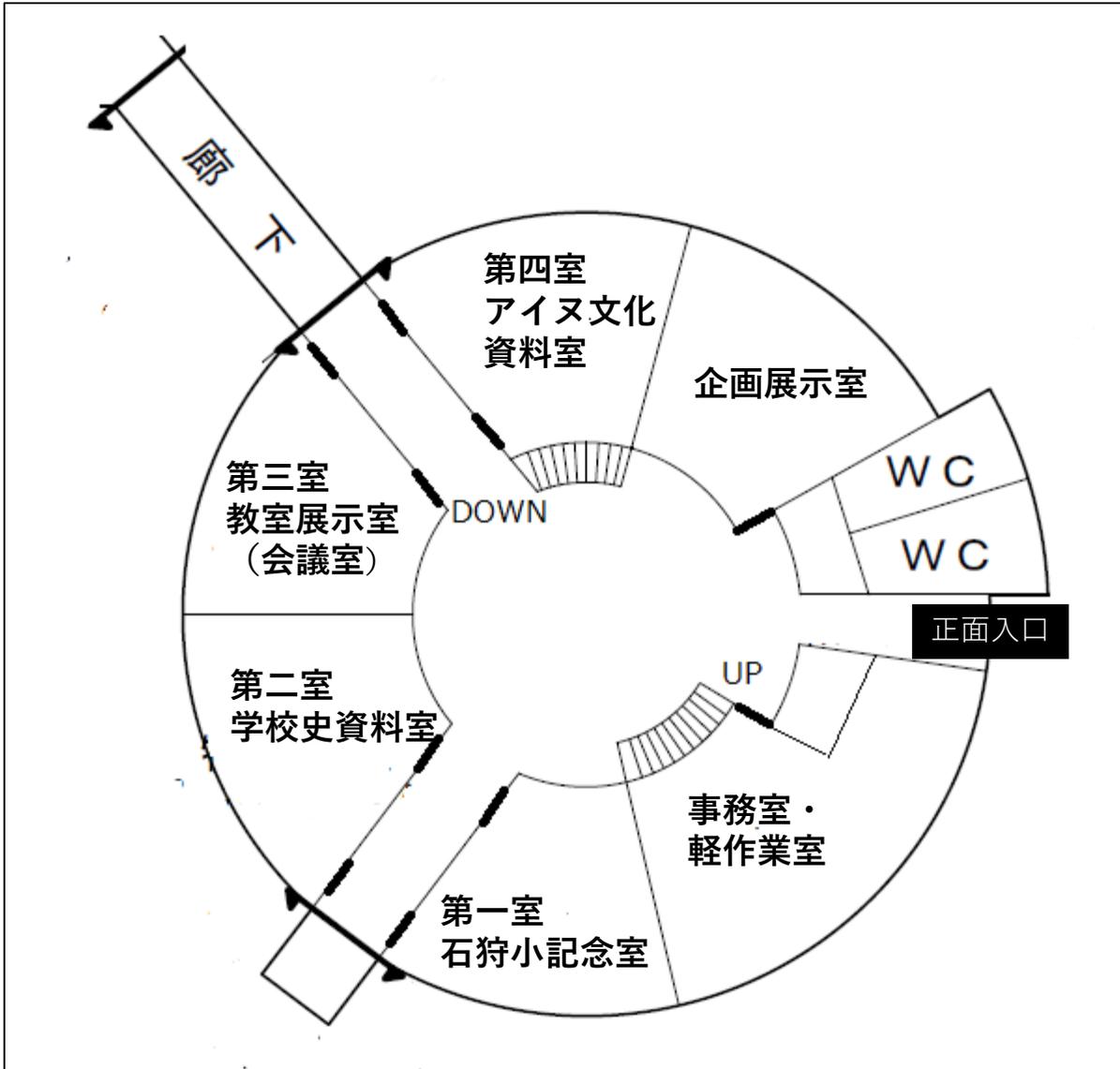
石狩小・砂丘の風資料館の位置付け



# ■石小を中心に何をするのか



# 円形校舎1階の活用イメージ



**第一室** 石狩小学校へようこそ  
石狩小記念室 石狩小や円形校舎の歴史についての展示室

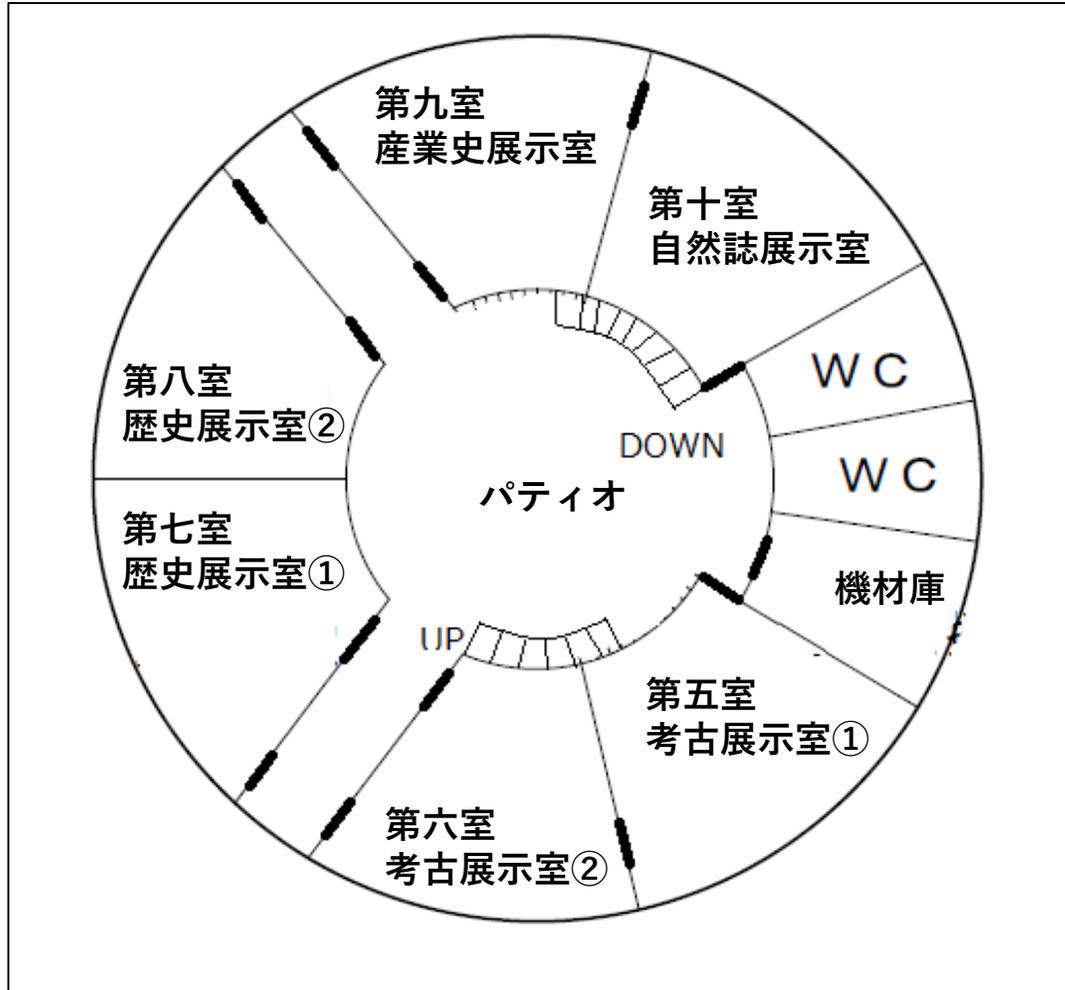
**第二室** 石狩の学校史をたどる  
学校史資料室 八幡小、石狩東小、高岡小など統廃合された学校についての展示室

**第三室** 2020年にタイムスリップ  
閉校時の教室の保存展示。実際の会議、小規模の講義、団体客のガイダンスにも使用。

**第四室** 石狩とアイヌ  
アイヌ化展示室 アイヌに関する概説的な展示、石狩のアイヌ、樺太アイヌ)

**企画展示室** 企画（テーマ展）用の展示室

# 円形校舎2階の活用イメージ



**パティオ** エントランスに本棚とベンチを配置  
小規模な歓談もできるようにする。

**第五室** サケのまち石狩のはじまり  
考古資料展示室①

**第六室** 縄文時代のサケ漁遺跡  
考古資料展示室②

**第七室** 開拓と石狩・第八室農村から市街地へ  
歴史展示室。市内各地の入植者の状況  
と村落の形成と変遷。花川、樽川の変遷

**第九室** 砂地水田と石狩油田  
産業史展示室 砂地での農業の展開、  
有畜農業と砂地水田、石狩油田

**第十室** 石狩の自然  
自然誌展示室 地形・地質、動植物、海

## 増築校舎2階の活用イメージ

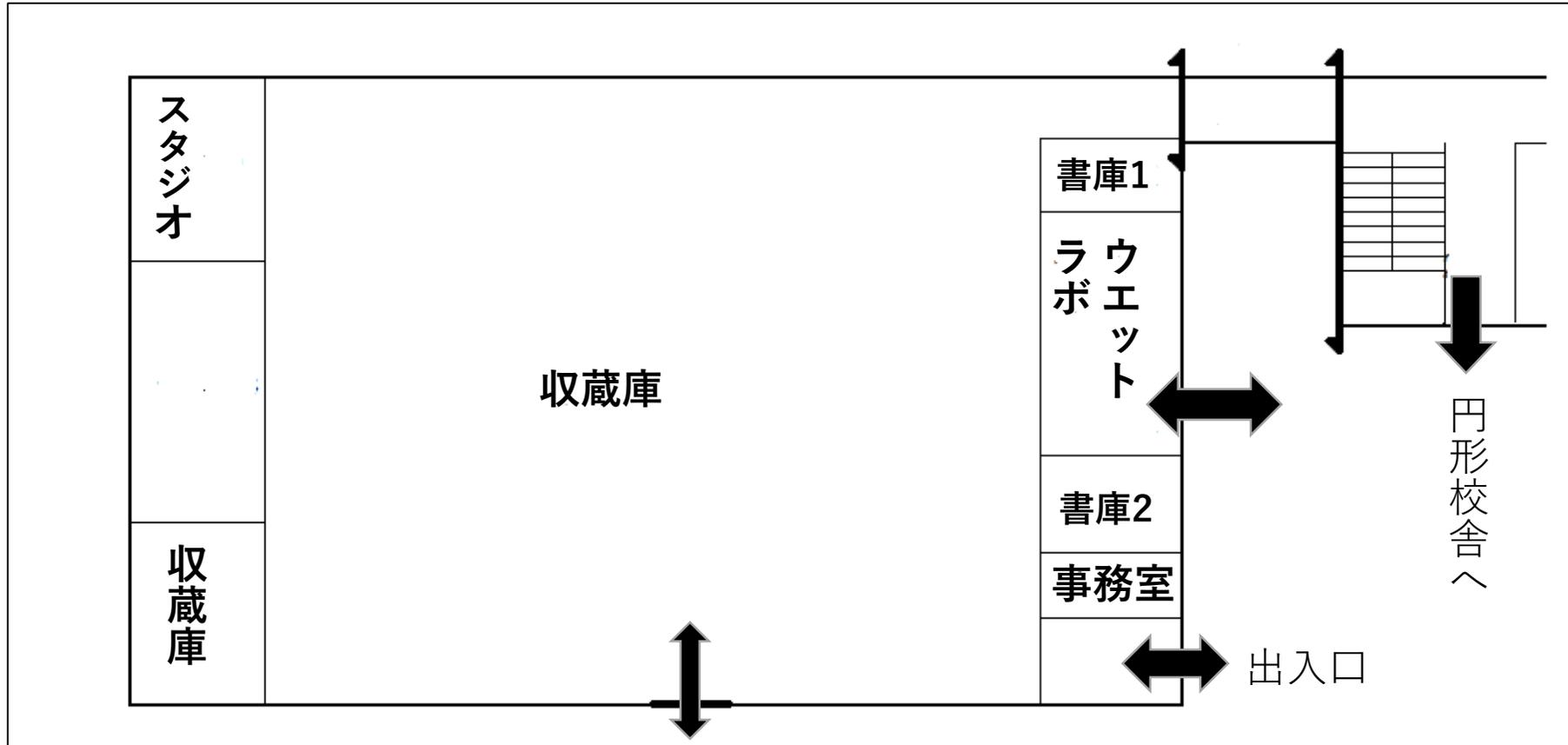


**体験学習室** 実験、調理などの体験講座用教室。  
ボランティア活動室も兼ねる。

**特別収蔵庫** 温湿度管理が必要な貴重資料の収蔵庫

**講堂** 50～70人程度の講演会、研究会を開催

# 屋内運動場の活用イメージ



**ウェットラボ**  
採集した生物の解剖、解体処理作業を行う。

**スタジオ**  
資料の撮影を行う。

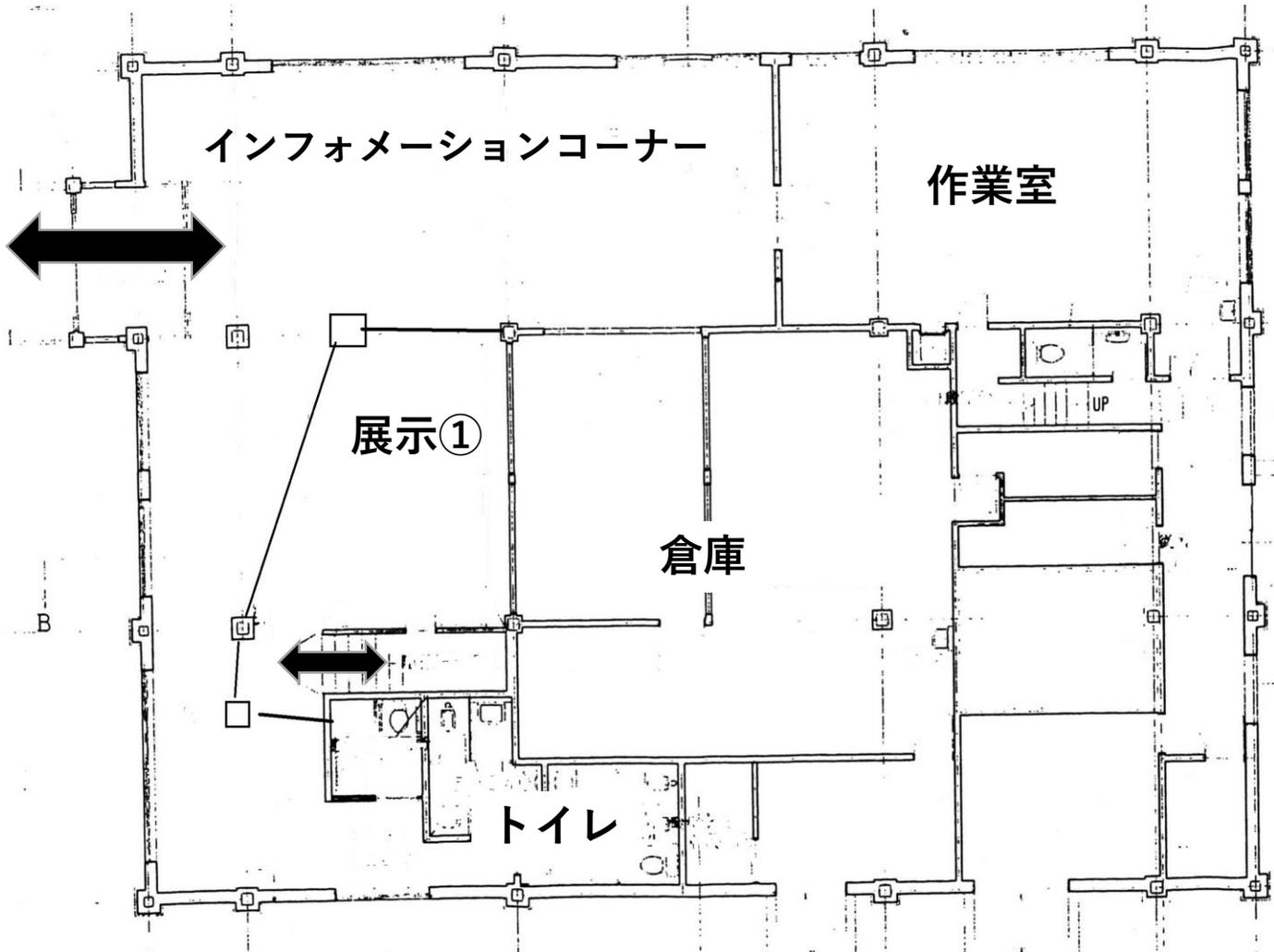
**書庫** 資料図書を収蔵

**事務室** 資料整理作業などを行う。

**収蔵庫** 分散している資料を収蔵。

# 砂丘の風資料館

## 資料館1階の活用イメージ



### 本町地域に関するインフォメーションセンター

地域内の展示施設、自然、史跡などのインフォメーションセンター。本町地区への入口的な機能として無料で開放する。

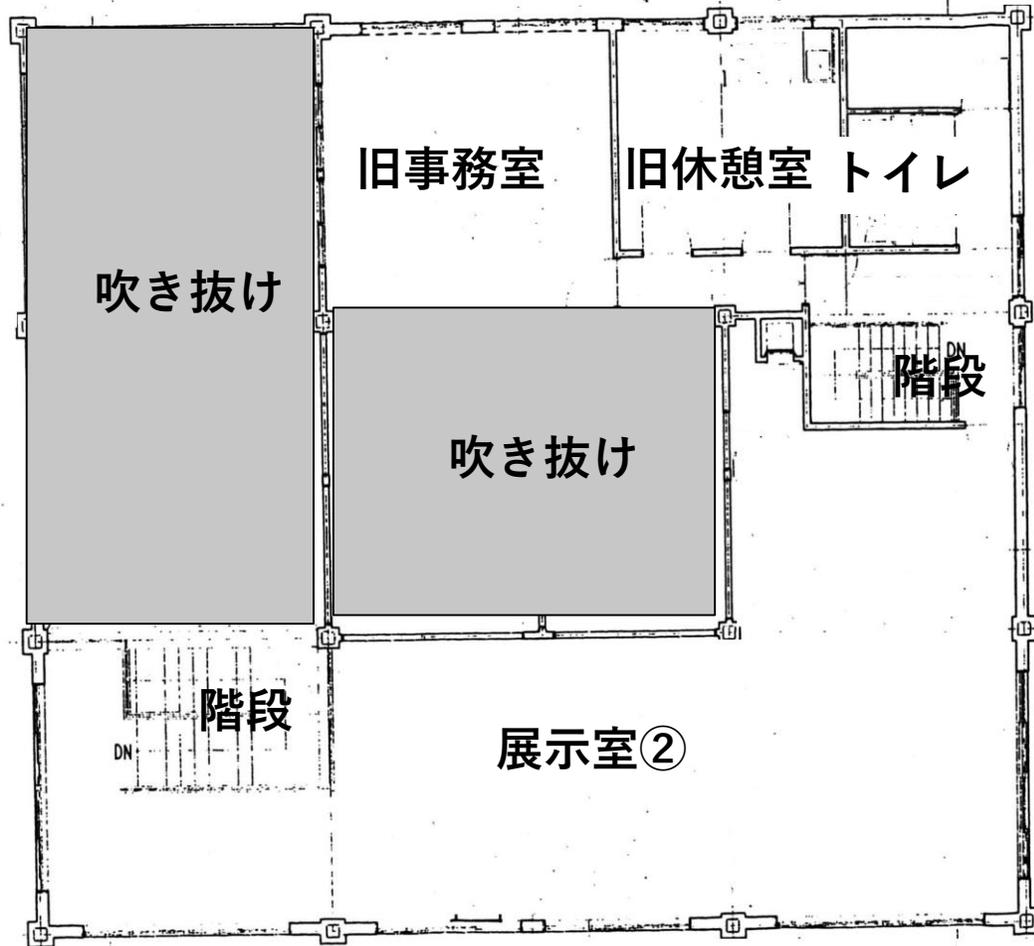
### 本町地区の歴史展示室

- 1階 イシカリ場所と鮭漁
- 2階 明治以降の石狩と石狩文化

### 市指定文化財旧長野商店

明治時代の石狩を代表する建築物と資料館の歴史展示の一体的な活用を図る。

# 資料館2階の活用イメージ



## 本町地区の歴史展示室

- 2階 本町市街の誕生
- 賑わう石狩市街
- サケ漁と観光
- 海水浴
- さけまつり
- 石狩川渡船
- 石狩鍋

## 市指定文化財旧長野商店

